

令和7年度（2025年度）

試験区分	編入学
学部学科	国際政策学部
教科科目等	小論文
出題の意図	<p>本問は、持続可能性というグローバルな課題と伝統ものづくり産業の持続性というローカルな課題を結びつけたものである。また、文化および社会・経済にわたる課題でもある。伝統ものづくりという文化を経済的・社会的側面からとらえ、伝統ものづくり産業の現状と課題について、基本的な知識や関心、自分の意見を持ち、それらを論理的に説明する力を有しているかを問い、3年次編入後に国際政策学部生として学ぶための基礎的な力を備えているかを確認する。</p> <p>評価は、知識理解、論理性、躍動性の3つの観点から行う。知識理解に関しては、伝統ものづくり産業およびその衰退傾向に関して関心や知識を持ち、コロナ禍および大規模自然災害による観光業への打撃をはじめとする経済的・社会的背景と結びつけて、自分なりに理解していることを確認する。論理性については、伝統ものづくり産業および経済的・社会的背景に関する知識を用いて、伝統ものづくり産業の課題および解決方法を論理的に示しているかを確認する。躍動性については、知識理解や論理をふまえて、多様で発展的な発想で解決策を提示する潜在的な力を有するかを確認する。</p>